

に規定するなり、我々は一面的に矛盾の普遍性と個別性を分離して学園斗争を斗争な  
いと思う。それはそれなら明白からの学園斗争は具体的にどのような方法で争われるの  
か。それはクラス斗争委、フラクを通じ  
学内交渉を目ざし、進歩を準備する事である。

### 斗争主体の問題点

山吹 八

我々が政治斗争を闘うにしても、また個別改良斗争を闘うにしても、それが目的意識的に革命をめざすという方向性を持ち得ない限り、またその方向性を大衆に対し提起していかない限り、これらの闘いは批評の債上げ斗争、あるいは反責諸君の闘いと  
同様にただ単なる物取り主義的、瞬間的斗争に終ってしまふより高度な、より向意を  
深化させた斗争へと発展しないという事は明白である。革命を行うには、そうした一回完結型の斗争を行うのではなく、その斗争をスラップとし、より高度な斗争へと個別の問題からより一般的な問題へと発展  
くまなく、連続的永続的斗争のつみかさねが唯一革命への道であることを確信しなげ  
ればならない。そこで一番大きな問題とな  
ってくるのは大衆の問題である。我々が闘  
いを組む時、それは常に権力との対置なく  
しては考えられない。そして権力は我々に  
対し、圧倒的物量と、社会的に公認された  
くがも実際的に効果を発揮しうる権威をそ  
とで弾圧してくる。それに対し我々の対抗  
手段として現在あるものは、客観的な情勢  
分析と適確な戦略と大衆の力のみである。  
しかしこの大衆の力のみが体制を突破で  
きる力であり、新しい社会を建設しうる力  
なのである。それゆえに我々が権力側

でなく我々側に集約していくかという観点  
でもって考えればならない。我々が最も大  
衆進歩主義的、近視眼的にみるのではなく  
長期展望にたつて大衆を変革し集約する  
その為には我々が今日までのすべての直  
接的、間接的経験を駆使せねばならず、ま  
たこれらの経験も非常に局所的であるがゆ  
えに一面的であることには注意せねば

大衆との問題で一番問題になるのは彼等  
の保守性である。保守性とは一つには日常  
性であり、また今までの生活環境並びに教  
育等によって植えつけられた固定概念、先  
入観念を、事物を客観的にみることによ  
り破壊していきこうとせざることをい  
ふ。我々の問題として適応性のよさであ  
る。現実的であるあるいは傾向が傾向でな  
くなる速さくとも言えはよいのか。我々の  
大衆の革新性をあげることができると  
このことは前にあげた之と矛盾するよう  
に感じるが古くは富山県の本騒動、電気争  
論、最近では田水斗争、ウラニスの五月  
革命、イタリ丁のオマネカスト等これらは  
大衆の革新性を示すものである。この大衆  
の革新性に革命は依存し、大衆の日常性適  
応性があつてゆえに革命は定着する。水一  
二泉を変革してゆく対象としてあるならば  
水三泉はまさに我々がいかんして大衆から  
引き出すかということが主要な問題である  
以下二程うについて述べてみよう。

### いかにして大衆の保守性、適応性を克服するのか

我々は常に日常性に埋没する危険性を有  
している。この日常性との向断なき闘いこそ  
最も重要な苦しい闘いである。日常性  
に没することは、我々もとりまく環境に對  
し鈍感になり、情況の微妙な変化をキャ  
ッチできなくなることを意味する。このことは  
正確な情勢判断ができなくなることを意味  
し、実際的な新しい情報不足により我々  
の考え方が固定化、保守化してしま